

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成24年12月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年12月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 162社 回答 154社 回答率 95.1%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	6社 3.9% (6.0)	17社 11.0% (14.1)	56社 36.4% (41.6)	39社 25.3% (25.5)	36社 23.4% (12.8)	154社	8社 5.4% (11.6)	19社 12.8% (10.3)	46社 31.1% (32.9)	42社 28.4% (28.1)	33社 22.3% (17.1)	148社
売上高	5社 3.2% (6.7)	20社 13.0% (15.3)	52社 33.8% (42.7)	43社 27.9% (23.3)	34社 22.1% (12.0)	154社	8社 5.4% (6.1)	15社 10.1% (7.5)	43社 28.9% (32.7)	42社 28.2% (29.3)	41社 27.5% (24.5)	149社
在庫数量	3社 2.0% (1.4)	13社 8.8% (9.7)	91社 61.5% (57.2)	38社 25.7% (26.9)	3社 2.0% (4.8)	148社	7社 4.9% (7.7)	21社 14.8% (12.0)	61社 43.0% (38.0)	33社 23.2% (29.6)	20社 14.1% (12.7)	142社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	6社 4.0% (4.1)	110社 73.3% (66.4)	30社 20.0% (27.4)	3社 2.0% (1.4)	150社	2社 1.4% (0.7)	6社 4.1% (2.8)	45社 31.0% (29.6)	58社 40.0% (40.8)	34社 23.4% (26.1)	145社
収益状況 (粗利)	3社 2.0% (2.1)	8社 5.3% (11.0)	76社 50.0% (49.3)	40社 26.3% (26.0)	25社 16.4% (11.6)	152社	10社 6.8% (4.9)	14社 9.5% (11.2)	44社 29.9% (32.9)	49社 33.3% (30.1)	30社 20.4% (21.0)	147社
稼働率 (生産・加工設備)	4社 3.2% (2.5)	8社 6.5% (13.1)	61社 49.2% (45.9)	29社 23.4% (29.5)	22社 17.7% (9.0)	124社	4社 3.4% (5.8)	14社 11.9% (9.2)	47社 39.8% (41.7)	33社 28.0% (25.8)	20社 16.9% (17.5)	118社
入出庫の トラック台数	2社 1.4% (2.1)	10社 6.9% (10.5)	71社 49.3% (56.6)	41社 28.5% (23.8)	20社 13.9% (7.0)	144社	3社 2.1% (4.4)	19社 13.5% (11.0)	56社 39.7% (45.6)	41社 29.1% (27.2)	22社 15.6% (11.8)	141社
	現在の景況感					計	3ヶ月後の景況予測					計
	1社 0.7% (1.4)	10社 7.1% (5.8)	59社 41.8% (37.7)	39社 27.7% (29.7)	32社 22.7% (25.4)		141社	4社 2.9% (0.7)	51社 36.4% (14.1)	68社 48.6% (61.5)	12社 8.6% (19.3)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(12月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 物件等は出て来ている。角スタッド、ランナー等に荷動きあり。東北復興プロジェクトも動いて来ている。為替が円安に振れ、スクラップ単価も若干上向きであるのは良いが、メーカーの動きが気になる。
- ② 国内メーカーの値上げアナウンスおよび海外ミルの実質値上げ等もあり、弱含んでいた市況も下げ止まっている。ただし、需要面は依然として弱く、現状、値上げの出来る状況にない。在庫調整は順調に進展している。市況、荷動き共に反転の切っ掛けが欲しい。
- ③ 中国の市況に先高感があるが、国内需要の低迷が続き、市況が安定しない。
- ④ 実質的な営業日が18日となり、売上、数量共に低調となった。ただ、年末にかけて政府も代わり円安、株高と急激に改善傾向に向けて振れたことで、新年への希望を持っての年越しとなった。市況も下げ止まり感が共通認識となりつつあり、動意が感じられる。公共事業復活の年となりそうで、建築関連は職人不足等のボトルネックを抱えながら、受注量、単価共に上向くだろう。円安と共にエネルギーコストや材料コストの上昇は伴うが、それを上回る製造業の価格競争力UPが輸出を支え、リーマンショック以来、久々の需給ギャップ改善が期待される。良い年になるよう頑張っていきたい。
- ⑤ 需要の停滞感は拭えず、政権交代後の景気回復期待感はあるものの、早急の回復は望み薄である。建築、土木関連需要はようやく出始めているが、製造業関連需要の回復は今ひとつである。経済インフラ要因は正に時間が必要と見られることから、年後半まで厳しい状況が継続するものと覚悟せざるを得ない。

中板

- ① 荷動きは低位横這いながら、在庫は適正水準をキープ。一部で安値情報が散見されるが、価格は底を打った状態にある。1月のメーカー売り出し内容如何では潮目の変化の可能性あり。採算改善に期待。

厚板

- ① 12月は前月比較では増量となったが、絶対量では相変わらず低レベルで推移している。鉄骨は1月以降に増量が期待できるが、橋梁は年度いっぱい低水準の見込みである。新年度以降の建築需要に関して数量面、価格面での回復が期待され、機運は高まりつつある。

— 舟安形鋼

- ① 12月なのに珍しく売上、粗利は前月比で微増している。建設、設備、機械の分野に補修、修繕の細かいながらも幅広い需要が増えているようだ。来年はこの動きが更に輻輳して来るのではないか。
- ② 来年は土木関係が出て来るのではないか。建築の方はまだまだではないか。町場の中堅の建築現場が出て来ない。

EH形鋼

- ① メーカーの値上げ発表で、年末に流通は販価アップに動き、年明け後、実行に移している。今後もメーカーは強気の姿勢を崩さず行動することが予想されるので、市況が上昇するのは確実だろう。
- ② メーカー販価の引き上げによる市況上昇の必要性は待ったなしの状況である。しかし、環境が整わなければ非常に厳しい。需給の改善や当事者の意識の変化が必要となる。

異形棒鋼

- ① 1月からスクラップ、電力問題でメーカーは値を上げている。店売り単価を1月16日より上げて行く。また、D16 ベースに対しD13+2、D10+4のサイズエキストラも完全実施する。
- ② 加工向け小口需要が堅調で、在庫販売の落ち込みは少なかった。メーカーの販売姿勢は強気に転換したので、今後市況を押し上げながら、採算を意識して販売して行きたい。

平鋼

- ① スクラップ高、電力料金UPに伴い、メーカーは値上げ。建築、土木関連が好調なため、荷動きは回復基調だが価格は様子見状態。年明け以降の需要に期待している。

鋼管

- ① 10～11月は回復基調が見られたが、12月は失速状態となった。ただし、年明け以降の物件は増えて来ている。
- ② 12月の前年同期比は、数量、金額で横這いだったが、利益は向上した。秋口から安値販売が減少して来たからであろう。

構造用鋼

- ① 中国の過剰生産による在庫増、EU経済不況、円高、空洞化等、国内は需要が減少している中で、各社の競争も激しくなって来っており、市況は更に弱含み傾向にある。
- ② 需要環境については、自動車関連向けは減速した状況が続いている。建設機械や産業機械関連は、国内外ともに低調な動きとなっており、1～3月は一部増加の動きも見受けられるが、先行きの不透明感は強い。店売りについては、需要が減速した状況にあり、荷動きは低調となっている。市況については、弱含み横這いで推移している。

その他

<曲げ加工>

- ① 12月に入り、前半はまずまずの調子だったが、後半に入って年内後片付けのような細かい受注で、加工は思ったほど伸びはなかった。年明けには大きな物件の見積りの話があるが、受注できるよう努力したい。先行きの見通しとしては、来年度景気が良くなると一般的には耳にするが、大いに期待したいものである。

<スクラップ>

- ① 12月の工場発生状況は24年12ヶ月の平均数量より20%減少。1年を通して一番少なかった。

<金属表面処理加工>

- ① 12月は紐付き、物件物とも計画通りの扱い量となる。スポットも前月同様に高位安定。高付加価値仕様が增加し、平均単価は10%上昇となる。来年1月以降も継続物件、紐付き材を中心に安定操業が維持出来そうである。